

[08_5] 図書館情報 : 九州大学附属図書館月報 :
8(5)

<https://doi.org/10.15017/18270>

出版情報 : 図書館情報. 8 (5), pp.29-34, 1972-05-25. 九州大学附属図書館
バージョン :
権利関係 :



図書館情報

1972.5

The Kyushu University Library Bulletin

Vol. 8, No. 5

別刷の利用

首藤次男

理科系の研究者には、専門が同じ人の間で別刷（抜刷）を交換する習慣がある。学会・協会・研究機関などの出版物に掲載した個々の論文を、著者の要望に応じた部数だけ別に印刷、製本したものが別刷である。一般に発行機関が一定部数の別刷を著者に贈呈し、その枠を超える部数については著者負担という方式で別刷が著者のもとに届く。それをこれぞと思う研究者に差上げ、その見返りに相手方の別刷を頂戴するわけである。専門が同じ研究者の論文が手もとに集まるのであるから、交換別刷というものは個々の研究者にとって、整理さえ怠らなければきわめて便利で有効な研究資料であると言える。

ところでイギリス、ドイツ、スイスなどのヨーロッパ諸国、オーストラリア、ニュージーランドなどの英連邦系の国々には、大学の教室、研究所が彙報・紀要・研究報告といった学術定期刊行物を持つということがなく、そこに所属する研究者が学会・協会などの雑誌に投稿した論文の別刷を、教室・研究所の業績として、研究機関レベルで交換配布する所が多い。私の所属する理学部地質学教室では紀要（欧文）と研究報告（和文）を毎年発行し、それを内外の研究機関に配布しているが、その見返りとして莫大な数の印刷物が送られてきている。そのなかで別刷の占める比率は決して低くはない。これらの別刷は実に有難いものであった。研究作業の過程でどうしてもある種の資料とか、考え方についての示唆が欲しいような時、別刷の山の中から貴重な論文をたまたま見出して快哉の声をあげたこともしばしばであった。とくに外国の雑誌類の購入種数が限られていた今から10年くらい前まではこの種の別刷の貴重さは格別なものであった。その反面、教室・研究所レベルの交換で集まる別刷は個人レベルのものと違って、雑多な専門分野の論文を含み、それぞれの規格はまちまちでしかも薄い冊子であるので、単行本や定期刊行物とは比べものにならぬ厄介さを持っている。行き届いた整理が行われていないと、どんな論文があるのかも見当がつかない単なる紙の山になりかねない。地質教室では年間受入れ1000部をこすこのような別刷を捌くための体制は、おもに財政的な理由から十分にできていないとは言えない。別刷はカードを作り、著者別なり専門別なりに組織的に編成されてこそ利用されるものである以上、それを利用できる状態においておくためには整理のための人と製本その他の雑費とが必要になってくる。この整理には似た専門の人の論文ばかりからなる個人交換の別刷とは格段に違う精度と配慮が要求されるのは当然であろう。も一つ厄介なことは、別刷は概して薄い冊子である（なかには1頁というようなものもある）から、使用のさい抜き出すと紛失のおそれが多いことである。製本するには規格がまちまちなのでむづかしく、製本費もばかにならない。地質教室ではこういう仕方の整理を定期的に行うだけの余裕がなく、間歇的に行ってき、一部は未だ未整理のままでおかれている。

こういう厄介さに加えて最近の5年間で教室レベルでの交換別刷の評価に関する事情が急変してきた。教室単位でみても、大学単位でみても、購入雑誌の数は十分とはいえないが、かなり増加したので、地質教室、さらに九州大学の中で利用しうる雑誌そのものが多くなった。一方では複写サービスが便利になったので、この大学にない雑誌類でもコピーが容易に入手できるようになった。従ってきわめて特殊な出版物でないかぎり、新しい論文はどうにか見ることができるようになったと言ってよい。また学問の急激な近代化に伴って、近代化した分野の有力な雑誌が続々と生れ育っていて、魅力のある重要な論文がこのようなものになりに集中する傾向がある。

情報過剰とも言えるこのような状況のなかでは、月月届く雑誌類に眼を通すだけでも精一杯で、別刷の山をかきわけて探すだけの時間と必要があるのだろうかという疑問が提出される。これはまともに実行すれば教室予算の2パーセント近くを喰う別刷整理のための人件費・製本費などを当然の

こととして支出してよいのであろうか、それより優先する費目があるのではなかろうかという疑問につながる。

貴重な研究費の10～14パーセントをさいて印刷された教室の紀要・研究報告の贈呈の見返りとして送られてくる印刷物の一部としての別刷は、十分利用されてこそ意義があるし、また私どももそのように推進する義務を負っていると思う。これと前に述べた教室交換別刷に対する否定的な問いかけをどう解決したらよいのであろうか。いま選択を迫られているこのことについて私どもはまだ十分な答を用意していない。しかし、コンピューターと結びついた文献情報サービス部門の能力が十分強化されれば、そこにはかることによって、九州大学の地質学教室にとってどの別刷が本当に必要度が高いかを判定することができ、選ばれた比較的少数の別刷ならば整理保管することも容易なのではないかと予想される。

(しゅう・つきお：理学部地質学教室助教授)

長崎大学の新図書館を見て

井 上 久 宏

去る3月9、10日の両日、前沢事務官と共に長崎大学に出張を命ぜられ、私は担当の雑誌受入事務を中心に、いろいろ図書館の方々と意見を交換し大きな収穫を得ることができたが、今回は特に印象をうけた新図書館について自分なりの感想を述べてみたいと思う。

市内電車の「大学前」で下車、長崎大学の正門をくぐると、すぐ右のところに、2階の正面玄関へ左右からの階段を登って行く構えの、図書館関係の雑誌などにいくつか紹介され、最近の図書館建築の一傾向を示している、それらしき建物が目に入った。

昭和45年度末に完成した長崎大学附属図書館の新館は、そう言いきれぬたたずまいをもった建物であった。

新館の位置は、教育・薬学・工学・水産の各学部、教養部のあるキャンパスにあり、学生数の57%を占める教養部の建物と、さらに教育学部の建物に近く、利用学生の約80%にとって極めて利用しやすい位置にある。

1階が事務スペースに当てられているが、これはこの地区の資料を集中処理するための受入整理部門と管理部門とが建築の際、優先された結果生じたのであり、この点利用者に対する不便をさけるため、1階を地下1m下げることによって2階正面玄関へのアプローチを短くしたという説明であったが、それが冒頭に述べたような、最近の傾向に見る、3～4階の建物の2階に主階をとるというパターンにつながっている。

将来、研究図書館としての役割も果せるようスペースの互換性も考え、館長室、事務長室、資料室、ロッカー室、資材室などは可動間仕切としているのは、なかなか柔軟性のある構想である。

事務室には、雑誌、受入、整理、管理係の4係合計15名の係員が入ることになるそうで、現在の仕事量に対して、このスタッフではいかにも苦しいということであり、私も同感であるが、スペースの方は十分に余裕をもって考えられているので、仕事はしやすそうであった。

2階は、正面玄関を入ると左側にノー・チェックで利用できる自由閲覧室と休憩室があり、入館者の約半数は、ここを利用しているとのことである。

これはこの新館の性格の一面を見せている点で興味深い。

一般閲覧室の床は、2階、3階全部がモケット張りにしているため、利用者の動きによる椅子や靴の音などの雑音が消され、静かな雰囲気を保つのに役立っている。また、教室閲覧室として、個室6席を含む小室があるが、現在のところ利用者は少なく、時として、アベック学生が侵入するという話に、こうした小室の管理をオープンにすることの難しさを感じた。

この他いろいろ目新しい見聞について書きたいが、要するに予想された利用機能と実際の利用状態との違いについて、館員の方々から体験談として聞かせていただいたことは、私にとっても大いに勉強になったというに止めておきたい。

また、長崎大学の前田正三氏が、図書館学 20号 (1972) に“長崎大学附属図書館の建築について—その経過と反省—”という論文を7ページにわたって載せておられたのも、その実情を見たあとなので特に興味深く読むことができた。

(いのうえ・ひさひろ：中央図書館整理課受入掛)

資 料 紹 介

昭和46年度特別図書購入費による購入図書

前年度にひきつづき、昭和46年度も特別図書購入費の指定配分を受けたが、これによって購入した図書は、次のとおりである。

- 1) *Alphabetische Catalogues van de Boeken en Brochures van het Internationaal Instituut voor Sociale Geschiedenis*. Vol. 1-12. Boston, Hall, G. K., Co. 1970.
オランダの国際社会史研究所が所蔵する約30万冊の社会主義理論および社会主義史に関する資料の蔵書目録である。(中央図書館)
- 2) *The Universal reference system; the political science, government, and public policy series*. Ed. by Alfred de Granzia et al.
Basic 10 vols and suppl. 9 vols. Princeton, Information Technology, 1970-1971.
世界各国で出版あるいは発表された社会学、政治学、行動科学分野の単行書、雑誌論文、記録文書などの総合目録で、著者・書名・出版事項のほか略語やキーワードを用いて文献の内容を要約している。(中央図書館)
- 3) *Ordonnances des rois de France de la Troisième race*. Paris, 1723-1849. Repr. ed.
フランス第三王朝（カペー朝）諸王およびその後の諸王（カペー朝傍系のブルボン朝を含む）の王令集である。(文学部)
- 4) *Orientalistische Literaturzeitung*. Berlin und Leipzig.
Jg. 1 (1898)-47 (1944) New York, Johnson Reprint Co., 1969.
Repr. ed. Cloth bound.
近東から極東にいたる全アジアおよび北アフリカに関する研究発表を文献学的に取り扱った月刊学術誌で、毎月1～2篇の論文と多くの新刊書評を掲載する。(文学部)
- 5) *Journal of educational psychology*. Washington, American Psychological Association.
Vol. 1 (1910)-37 (1946)
広く教育の場において起る心理学的諸問題についての実験的理論的な研究を収録した雑誌である。(教育学部)
- 6) *Sociology and social research; an international journal of social research*. Los Angeles, Univ. of Southern Calif. Vol. 1/5 (1916/1918), 39 (1954/55)-53 (1968/69)
社会学の理論的考察にとどまらず、国際的広がりにおいて応用的見地から、実際の諸問題に関する社会学的調査研究の成果を含むものである。(教育学部)
- 7) Muratori, Lodovico Antonio. *Rerum italicarum scriptores*.
Fasc. 6-7, 11, 117-119, 166-380. Bologna, Zanichelli ed. Repr. ed. 1966-70.
前年度135冊を購入し、今年度残部の159冊を補充購入したものである。中世イタリア史料集で、バタリアの乱を中心としたミラノ・コムーネ史研究およびゲルマン法、封建法研究一般、13世紀北中部イタリア各地で生じた Popolo 運動の史料などを含んでいる。(法学部)
- 8) *Revue internationale des sciences administratives; revue de l'administration de la coopération technique et de l'assistance économique*. Vol. 1 (1928)-16 (1950), 19 (1953)-27 (1961) and general index, 1938-1957. New York, Kraus Reprint Co. Repr. ed.
Cloth bound.
ベルギー、ブラッセルに本拠をおく国際行政学会の機関誌であり、ヨーロッパを中心とする諸国

の行政制度, 行政理論に関する論文を掲載した雑誌である。(法学部)

- 9) American digest. 7th decennial edition of the American digest; a complete digest of all reported cases from 1956-1966. St. Paul, West Pub.

アメリカ全州裁判所の判例総目録である。(法学部)

- 10) Southern California law review. Los Angeles, Univ. of Southern Calif. Vol. 1 (1927)-38 (1964/65) and index to vols.

南カリフォルニア大学の大学院の機関法学雑誌で, 判例および資料理論的分析, 研究論文などを集録している。(法学部)

- 11) Irish University Press series of British Parliamentary Papers. Monetary policy. General Vol. 7-8, 10; Commercial distress Vol. 4; Decimal coinage Vol. 1; Savings bank Vol. 2-4; Currency Vol. 1-8; Joint stock banks Vol. 1. Repr. ed. 1969.

前年度14冊を購入し今年度引き続き17冊補充購入したものである。イギリス金融制度の確立, その基礎となった地金論争, 通貨論争, その後の貨幣・信用理論を収録したものである。(経済学部)

- 12) Annual report of the Board of Governors of Federal Reserve System. 1st (1914)-27th (1940) Washington, U. S. Government Printing Office. Xerography ed. Cloth bound.

米国の連邦準備制度の形成期から1940年にいたる年次報告書で, 連銀の組織と運営に関する規約, 連銀活動, 金融政策施行にともなう通貨・金融・銀行・為替などの諸事象の報告書である。(経済学部)

- 13) Harvard studies in business history. Cambridge, Mass., Harvard Univ. Vol. 1 (1921)-24 (1967) Partly xerography ed.

ハーバード大学経営史講座の創設者ゲラースの指導の下に事例的方法による研究成果を集成したものである。(経済学部)

- 14) Annual report of the Securities and Exchange Commission. 1st (1935)-33d (1967) Washington, U. S. Government Printing Office. Repr. ed. Cloth bound.

証券関係法規に基き, 年間の有価証券届出書, 有価証券報告書, 有価証券上場申請書などの審査状況を報告したものである。(経済学部)

- 15) Nebraska law review. Vol. 1 (1922)-22 (1943) Lincoln, Neb., Univ. of Nebraska.

ネブラスカ大学およびネブラスカ州法曹界の機関誌で, 内容としてネブラスカ州法曹界の訴訟手続報告, ネブラスカ大学と法曹界とによる最近の判例注釈批評などを含んでいる。(法学部)

(中央図書館・整理課受入掛)

目 録 47.4.21~5.20

4. 24 全国国立大学図書館協議会の図書館機械化調査研究班集会, 於大阪大学附属図書館, 長尾整理課長出席
4. 25~26 東芝電気KKによる電算機講習会, TOS-BAC 入門コース, 於福岡東芝電気KK支店, 伊藤, 山本, 江崎, 園田, 井上各掛員受講
4. 26 第19回全国国立大学図書館協議会総会当番館打合せ会, 於九大附属図書館, 九州工業大学, 福岡教育大学, 九州芸術工科大学, 九州大学各事務(部)長, 各課長出席
5. 2 福岡県大学図書館協議会の福岡地区研究会(昭和46年度第5回)アメリカンセンターインフォーマット見学

5. 9~11 先の東芝による電算機講習会第2回, プログラミング基礎コース, 受講者前回と同じ
5. 11 開学記念日, 休館
5. 12 第94回附属図書館商議委員会, 会議終了後, 新館建築現場視察
5. 15 沖繩本土復帰記念日, 午後休館
5. 16 国立大学協会図書館特別委員会, 於東京大学, 高木館長出席
5. 18 九州地区国立大学図書館協議会, 於小倉, 若戸荘 当番館 九州工業大学附属図書館, 長尾整理課長出席
5. 19 九州地区大学図書館協議会, 於小倉, 若戸荘 当番館 北九州大学附属図書館, 高木館長, 長尾整理課長出席

レファレンス・コーナー

(その15)

——中央図書館情報資料掛——

中央図書館の情報資料掛(電・5310・5317)では、利用者の方々から寄せられてくるいろいろな質問事項の調査を行なっていますが、ごく最近にあった質問のなかから幾つかを、ご参考のためにここに挙げてみることにします。

質問1 福岡県のどこかに高山彦九郎の碑があると聞いたが、その所在先、および碑の文句を知りたい。

回答例 文学遺跡辞典(512フ5)で調査。「古典文学碑一覧」というのが記載されている。県別に挙げてあって、それによれば、久留米市寺町の遍照院というところにある。碑文は「我をわれとしろすめすかや皇の玉の御声のかかるうれしさ」

質問2 福岡市の姉妹都市は米国カリフォルニア州のオークランド市だが、そのほかわが国で姉妹都市を結んでいる都市にどんなところがあるか。

回答例 世界各国総事典(020セ8)で調査。提携年月日、提携の理由なども述べてある。

質問3 Tool and Manufacturing Engineer から1967年に Development in metallic tooling material という別冊を出しているが、その所蔵先を知りたい。

回答例 雑誌の別冊でシンポジウム型式のものになると、雑誌から離れて単行本扱いになる。調査したが所蔵先は出てこない。雑誌の別冊は、洋雑誌にかかわらず和雑誌の場合でも購入洩れの場合が多い。(発行を知らずにいる場合、知っていても必要に応じて購入しない場合)現に九大では生産機械教室がこの雑誌を所蔵しているが、上記の別冊は購入していない。雑誌の所蔵先は、学術雑誌総合目録、自然科学欧文編でわかるので、大きな大学へ直接問い合わせるほかはあるまい。

質問4 ジョンソンとニクソンのフルネームを知りたい。

回答例 「世界年鑑」'71(059.1,Se 22,1971)のなかの世界人名録の項に、最近の世界の有名人の紹介がしてあり、名前も原綴りで出ている。なおアメリカの歴代大統領は世界大百科事典(020セ7)にジョンソンまでは詳しく出ている。ニクソンは新しいので出ていない。毎年年鑑(333マ2)の「各国の現況」のアメリカの項にも歴代大統領の名が出ていますが、片仮名で原綴りではない。

質問5 書物の各部分の名称に「遊び紙」というのがあるが、どの部分を言うのか。

回答例 出版事典(023.1,Sh 99)に、洋装本の各部分の名称が図入りで説明してある。出版事典には活字

(和・洋)をはじめ、その他書物に関することが詳しく記載されている。著作権をはじめ、書物に関する法規類も洩れなく掲げてある。

質問6 Wilkinson, W. L. の経歴と住所。

回答例 American men of science; the physical and biological science (761A6)で調査。

質問7 中華人民共和国はいつ成立したか。

回答例 「新中国年鑑」1970年版(333シ13)で調査。1949年10月1日に成立宣言。なお「新中国年鑑」には、中華人民共和国の成立から1968年までの年表がある。年表は、中国国内・国際関係・日中関係の3項年表となっていて詳しい。

質問8 Ng, D. & D. Rippin, "The effect of incomplete mixing on conversion in homogeneous reactions". presented at the Third European Symposium. Amsterdam, September 1964 の複写を入手したい。

回答例 the Third European Symposium では、なんのシンポジウムかわからない。U. S. Library of Congress national union catalog, 1963~67(010U 20)で調査。正式名は、European Symposium on chemical reaction engineering 3rd. Amsterdam, 1964と思われる。新収洋書総合目録1964年(010J 31)によれば、京都大学が所蔵。参考掛が複写関係を担当しているのでそこへ申し込むよう指示した。

質問9 天然記念物が毎年あらたに指定されたり解除されたりしているが、それはどのような基準で行われているのか。

回答例 六法全書でも調査できるが、「天然記念物事典」(462.91,Te 37)で詳しく知ることができる。「特別史跡名勝天然記念物及び史跡名勝天然記念物指定基準」をはじめ、天然記念物に関する一切の規則が挙げられている。なお末尾には「天然記念物目録」が県別に挙げてある。各記念物は、場所、指定日、その内容などが写真入りで説明してある。

質問10 奈良・東大寺の紋章を知りたい。

回答例 家紋大図鑑(288.6,N89,1)で調査。家紋の名称が、50音順に図入りで説明されている。そのほか神紋・寺紋・芸能紋・県市の章紋・社章・学章なども挙げてある。

利用の窓

昭和46年度：中央図書館および分館学部学生年間利用統計

	学 部	学 生 数	閱 覧 者 数						学生1人 当り月間 利用回数
			閉架図書室	開架図書室	入 庫	貸 出	参考図書室	計	
本 館 (中央図書館)	文 学 部	564人	829人	2,339人	892人	1,117人	504人	5,681人	0.84
	教育学部	174	103	579	59	91	65	897	0.43
	法 学 部	799	1,429	9,563	1,311	1,149	950	14,402	1.5
	経済学部	707	155	2,231	253	351	284	3,274	0.39
	理 学 部	870	158	6,398	311	396	266	7,529	0.72
	工 学 部	2,589	249	18,945	573	828	777	21,372	0.69
	農 学 部	761	194	2,516	140	249	198	3,297	0.36
	医学・歯・薬部	924	19	384	25	44	35	507	0.05
	教 養 部	2,588	45	462	97	77	20	701	0.02
	計	9,976	3,181	43,417	3,661	4,302	3,099	57,660	0.48
医学館	医学・歯・薬部	924	26,071			8,054		34,125	3.08
学館	教 養 部	2,588	697	19,031	1,421	4,200		25,349	0.82
教養部	合 計	9,976	97,479			16,556	3,099	117,134	0.98

備考：学生数は月別学生現員の平均で大学院学生も含む。

なお医学分館は、全館が開架方式のため、入館者数が閲覧者数となっている。

各館の貸出規定は次の通りである

	帯 出 期 間	帯 出 冊 数
中 央 図 書 館	学部学生 8日間 大学院学生 1ヵ月	3 冊
医 学 分 館	8 日 間	学部学生 3 冊 大学院学生 5 冊
教 養 分 館	8 日 間	毎 日 1 冊

教養部の年間利用合計は、昨年度と比較すると10,000人の大幅な減少をみた。原因は1月から3月までストがあり、後期試験の行われなかったがためである。なお教養部の帯出冊数“毎日1冊”は毎日1人が1冊借りられることを意味する。帯出期間の8日間を勘案すると、利用者は常時6冊借りておれることになる。

◆ 人 事 異 動

附属図書館商議委員の異動

商議委員の任期満了に伴い、下記のとおり発令があった。

47. 5. 1 木下 悦二(経済) 新
 “ 10 秀村 選三(“) 再

九州大学附属図書館月報「図書館情報」Vol.8, No.5 (通巻78号)

1972年5月25日発行・発行人 中 村 譲

発行所 九州大学附属図書館・福岡市東区大字箱崎 3576・〒811②・電話代表 ㊤ 1101 内線 5301